としょかんだより　12月号

平成２９年度西北台小学校図書館

いよいよ楽しいクリスマスやお正月が近づいてきましたね。ワクワクすることがたくさんある冬休みに心のえいようである本をゆっくり読んでみませんか・・・。

図書委員からオススメの本を紹介します！

お知らせ！！
1月5日（金）にも本の貸し出しをします。
本が好きなみなさん，ぜひ借りに来てね！

4年　礒見　陽向　「へんしんトンネル」　作：あきやま　ただし

２年生のときに，６年生を送る会でしておもしろかったのでこれをおすすめします。これはさいしょの言葉をいれかえているところがおもしろいので，おすすめです！！

4年　本吉　可寿葉　「どこかいきのバス」　作：井上　よう子

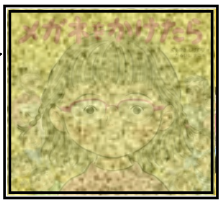
バスが行く場所によって，形をかえるから，楽しめるし，字が大きいから読みやすいです。「リクエスト」によって，行く所をかえます。どこかと書いてあるのでどこでも行けます。みなさんぜひ読んでみてください。

5年　西村　怜南　「いじわるなないしょオバケ」　作：ティエリー・ロブレヒト

ママの物でさわってはいけない物がある。それは「しんじゅ」。それをお母さんにないしょで首につけてみた。すると，切れてしまった。お母さんに言えないでいると，何とおばけが！他にも，学校で本当のことを言わないとないしょにしたい言葉をくりかえすおばけが次々と出てくるお話です。

5年　本吉　史埜　「メガネをかけたら」　作：くすのき　しげのり

最初はメガネを信用してなかったけど，先生たちや家の人がみんなメガネをかけたら信用してメガネをかけたのでいい話だと思いました。



6年　本吉　嵩琉　「こんにちは　たまごにいちゃん」　作：あきやま　ただし

オススメは，「がんばります」宣言なんかをしても，楽な方向があればその方向に行ってしまったり，「約束」をしてもやっぱり無理，できるわけがないと思ってしまったりする場面です。そんなことが一人一回はあると思うので共感できると思います。

6年　山戸　花菜　「ツー・ステップス！」　作：梨屋　アリエ

ツー・ステップスは，女子の友達関係について書かれた物語です。友達のことについて書かれているから，「あー，これあるなー」とか「分かるな」など共感できるところがあります。自分と比べながら読むことができるので，ただ読むよりも楽しく読むことができます。ぜひ読んでみてください。